



5月は全コーヒーグループの指標価格が上昇した

2018年5月、ICO複合指標価格の月間平均値は前3か月間下落した後、0.7%上昇し113.34米セント/Bとなった。全てのコーヒーグループの指標価格が上がったが、最も大きく上昇したのはアザーマイルドグループで0.9%、135.61米セント/Bになった。2018年4月の世界コーヒー輸出量は、2017年4月が9.5百万袋だったのに対し、10.18百万袋に増加したが、これはロブスタコーヒーの輸出量が前年比14.1%増えたことや、コロンビアマイルドが6.8%増加したことが主な要因である。2017/18年度の世界のコーヒー生産量は前年度比1.2%多い159.66百万袋の見通しで、10大コーヒー生産国の内8か国が増産予想である。

図 1: ICO 日次複合指標価格

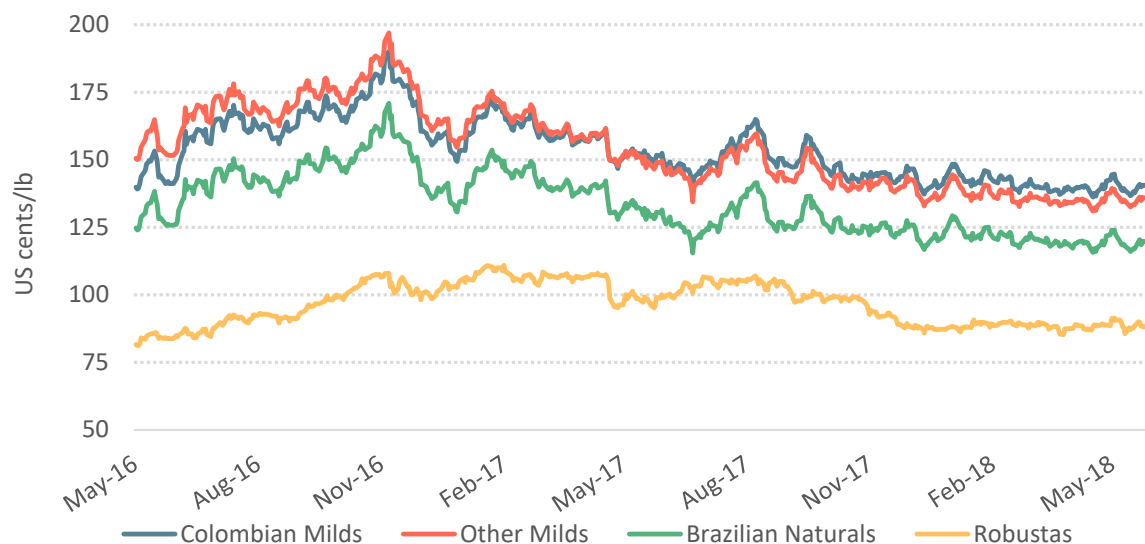


© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

ICO複合指標価格の月間平均値は過去3か月に亘り下落した後、2018年5月は0.7%上がり113.34米セント/LBとなった。日次複合指標価格は、月初は116.88米セント/LBだったが、5月15日に110.61米セントを付け、月末は114.90米セント/LBとなった。月間平均値が前の月に比べ僅かに上昇したとは言えるものの、この価格は5月の月間平均値としては2007年に100.09米セント/LBを付けて以来の最も低い数字である。2008年～2017年の5月の複合指標価格平均は142.33米セント/LBであり、2016年5月の119.91米セントから2011年5月の227.97米セントの価格幅の間である。2017/18年度の需給バランスがほぼ均衡している一方、コーヒー

価格がファンダメンタルズから外れる程下げているのは来月にも市場に流入するニュークロップが豊作であることが織り込まれたことによるものだろう。しかし、5月の価格が前月に比べ上昇したことは、これ以上の下げには限度があることを示唆しているものと思われる。

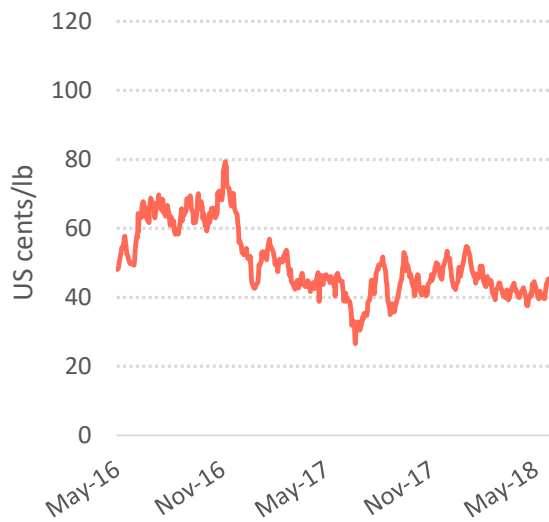
図 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

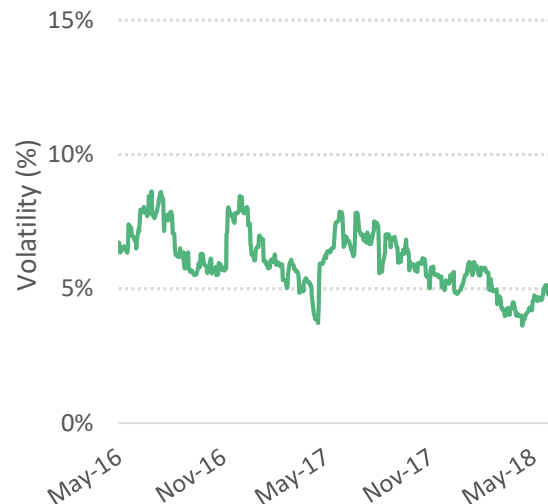
2018年5月、全てのコーヒーグループの価格は上がった。最も大幅に上昇したのはアザーマイルドグループで、0.9%上げ135.61米セントとなり、コロンビアマイルドは0.7%上昇し140.26米セントになった。結果として、コロンビアマイルドとアザーマイルドのディフェレンシャル（価格差）平均値は6.1%縮小し4.65米セント/LBになった。複合指標価格と同様にアザーマイルドとコロンビアマイルドの2018年5月の指標価格平均値は2007年5月以来最も低い数字である。2018年5月のブラジルナチュラルグループ指標価格は0.7%上げ119.57米セント/LBとなったが、これは2009年5月以来の最も低い数字である。5月のロブスタグループの月間平均値は0.5%上がり88.74米セントとなったが、この価格と過去10年の5月の平均値とを比較すると6年の平均値を上回っている。ニューヨークとロンドン先物市場価格で測られる5月のアービトラージは4.5%広がり42.65米セント/LBとなった。更に、ICO複合指標価格の価格変動率は0.8%ポイント上昇し4.8%となった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場
のアービトラージ



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

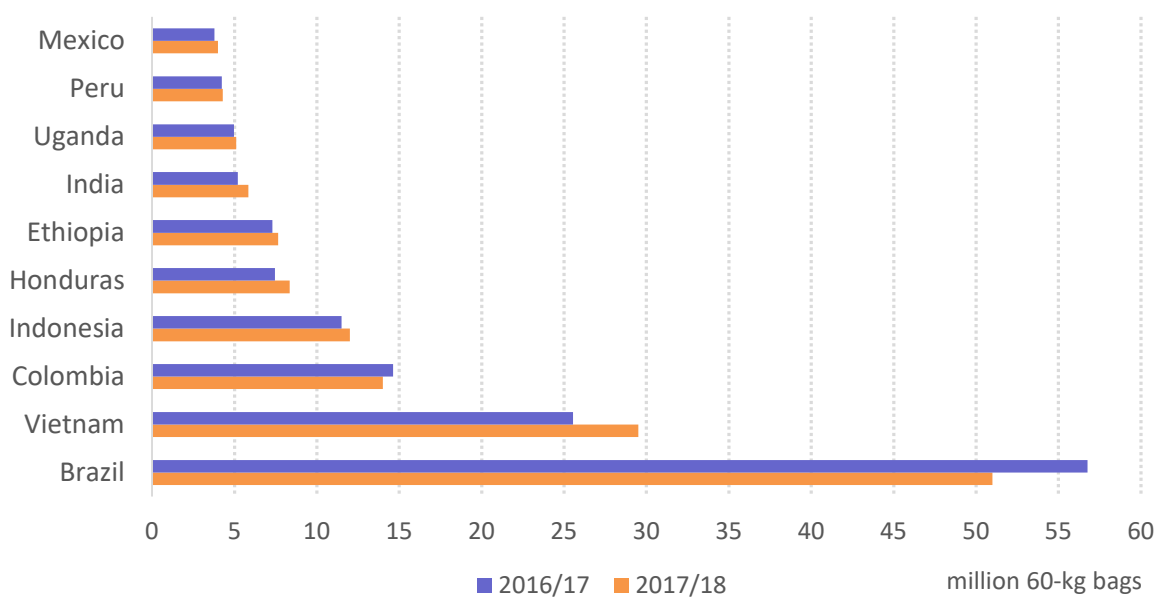
図 4: ICO複合指標価格の30日移動平均
価格変動率



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

2017/18年度の世界コーヒー生産量は159.66百万袋と、前年度比1.2%の増産見通しである。アラビカコーヒーの生産量は4.6%減の97.43百万袋、ロブスタコーヒーは12.1%増の62.24百万袋の見通しである。コーヒー生産量見通しは、南米地域が70.59百万袋と6.1%の減産予想である以外は全ての地域が増産予想である。アフリカ地域の生産量は3.2%増の17.66百万袋、アジア・オセアニア地域は10%増の49.49百万袋、メキシコ・中米地域は7.1%増の21.92百万袋の予想である。世界10大コーヒー生産国の内8か国が増産見通しである。

図 5: コーヒー生産量

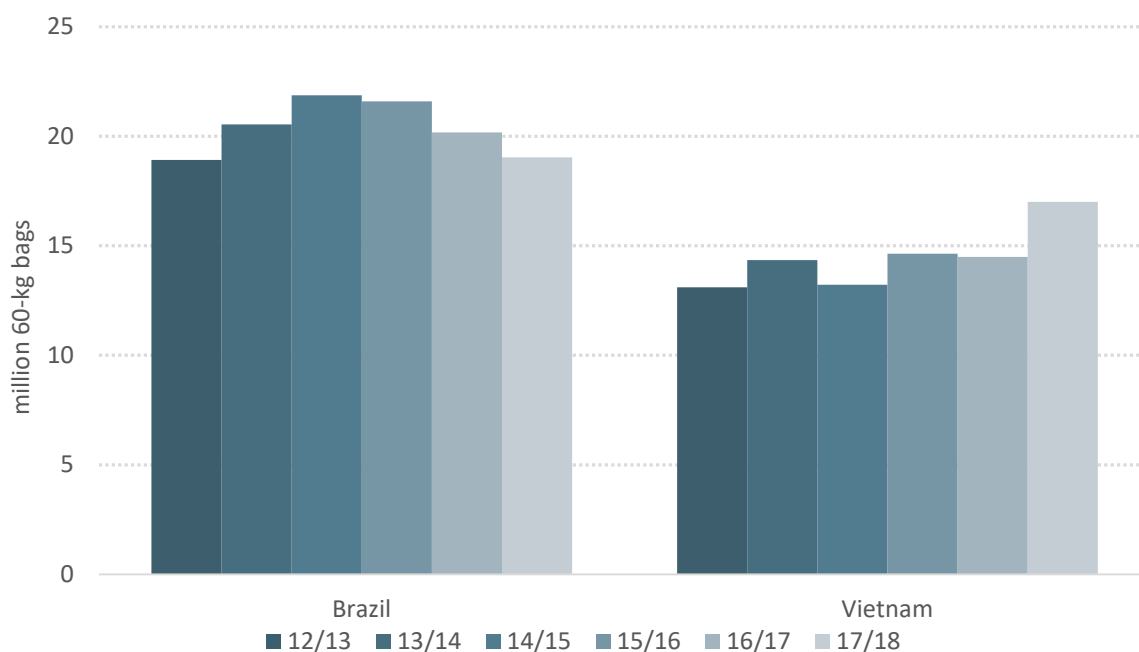


© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

2018年4月のコーヒー総輸出量は2017年4月に比し7.1%増の10.18百万袋だった。ロブスタコーヒーの輸出量は14.1%増え、コロンビアマイルドは6.8%増加した。2017年10月から2018年4月までの7ヶ月間の累計輸出量は前年同期間に比べ1.2%増加した。コロンビアマイルドの2018年4月の輸出量は増えたが、2017年10月～2018年4月の累計輸出量は8.7%減り8.37百万袋となった。ブラジルナチュラルの7ヶ月の累計輸出量は前年度同期間に比べ1%少ない20.83百万袋だった。しかし、アザーマイルドとロブスタグループの2017/18年度最初の7ヶ月の累計輸出量は夫々6.8%、3.6%増加した。下図で解るようにコーヒー10大生産国の内3か国の今年度最初の7ヶ月の輸出量は前年度同期間に比べ減少している。

世界最大のコーヒー生産国で輸出国でもあるブラジルの2018年4月の輸出量は前年同月に比べ4%増加した。しかし、2017/18年度最初の7ヶ月の累計輸出量は、アラビカが裏年に当たっていたため、前年度に比べ5.7%少なかった。即ち2017/18年度の生産量が2016/17年度に比べ7.3%少ない51百万袋だったからである。国内消費量が増えたことも輸出量が減った理由である。しかし、表年で天候にも恵まれ豊作が予想されている2018/19年度ニュークロップの収穫は現在既に始まっている。

図 6: 2017年10月～2018年4月の輸出量

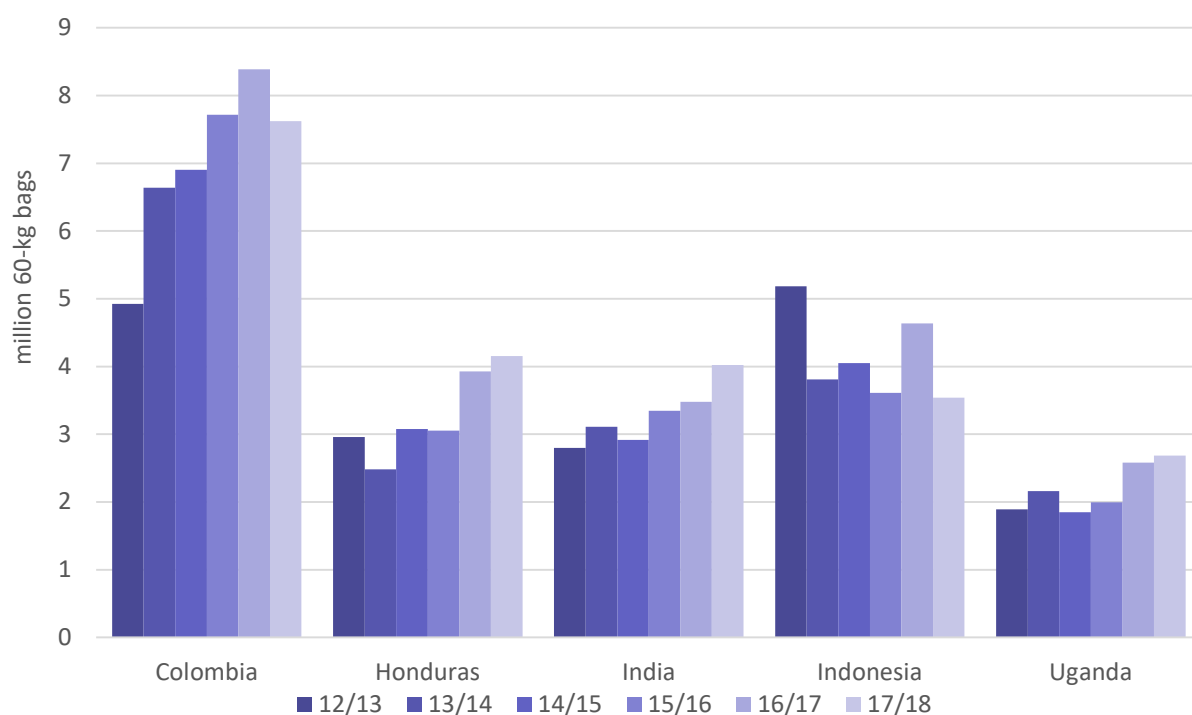


数量を見ると、ベトナムの10月から4月までの間の輸出量増加分は同期間のブラジルの減少分をカバーして余りある状況である。2017/18年度のベトナムの最初の7ヶ月の累計輸出量は前年度比17.3%増の推定17百万袋であり、この数量は同国のこの期間の輸出量記録となっている。即ち、ベトナムの2017/18年度コーヒー生産量は、2016/17年度が前年対比11.1%減の25.54百万袋だった後、15.5%増産の推定29.5百万袋である。この増産は主に十分な雨量及び新しく植樹した木が収穫期に入ったことによるものである。

コロンビアの2018年4月の輸出量は前年同月比3%増え0.9百万袋だったが、2017/18年度最初の7ヶ月の累計輸出量は前年同期比9.2%減の7.62百万袋となった。2017/18年度の同国の生産量は、多雨曇天の影響で4.3%減の14百万袋の予想である。コロンビアの今年度のコーヒー輸出は、減産及びコロンビアペソが米ドルに対し強含んでいることから伸び悩んでいる。

ホンジュラスの2017/18年度最初の7ヶ月の輸出量は5.7%増の4.15百万袋である。しかし、4月の輸出量は需要が落ちたことで減少し804,573袋になった。この数字は昨年同月に比べ13.9%少なく、2018年3月に比べ6.1%少ない数字である。年度全体の数字が増えた背景には2017/18年度のコーヒー生産量が推定8.35百万袋と前年度比12%増産であることがある。増産の主な理由はコーヒーサビ病対策やコーヒー耕作面積の増加が奏功したことである。

図 7: 2017年10月～2018年4月の輸出量



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

インドの2017/18年度最初の7ヶ月の輸出量は15.6%増え4.02百万袋となった。国内消費量は引き続き限られているので大半のコーヒーは輸出に回されている。2017/18年度の同国コーヒー生産量は12.3%増の5.84百万袋の見通しだが、降雨量が少なく、高温だったため当初予想よりは低い数字となっている。

インドネシアの2018年4月の輸出量は、相対的に多かった前年度に比べ23.4%少ない454,328袋となり、2017/18年度最初の7ヶ月の累計輸出量も同じように23.7%低い3.54百万袋となった。インドネシアは今、ニュークロップの収穫が始まったばかりであることや国内需要がこの2～3年着実に増えていることから輸出可能数量はかなり少なくなっている。同国の2017/18年度コーヒー生産量は、2016/17年度が前年度比6.7%の減産だった後、回復し4.4%増の12百万袋の見通しである。

ウガンダの2018年4月の輸出量は3か月連続して減少し、前年4月に比べ9.3%少ない295,184袋となったが、主な要因はこの数ヶ月豪雨が続き収穫を妨げられたことによるものである。しかし、2017年10月～2018年4月の累計輸出量は前年同期比4.1%増の2.69百万袋となったが、これは同年度の生産量が前年度比2.8%増え5.1百万袋の増産であることによるものである。改良品種の植樹、効果的な投入資材の適用、農業指導サービスの改善などのお陰で生産性が改善し増産に繋がっている。

ペルーの2017年10月から2018年4月までの累計輸出量は3.5%増の2.18百万袋となったが、同年度の生産量はサビ病から立ち直り1.8%増の推定4.3百万袋である。エチオピアの2017/18年度の最初の7ヶ月の輸出量は19.6%増の1.86百万袋であり、同年度の生産量は適当な降雨のお陰で暫定数値ではあるが4.8%増の7.65百万袋の見通しである。メキシコはサビ病を克服する為に、サビ病に強い新品種の植樹や、植樹の為に金融パッケージ、技術援助、訓練を施すなどの政府の政策が奏功し徐々に最悪の事態から回復しているようである。2017/18年度の生産量は暫定的に5.8%増の4百万袋の見通しである。同国の最初の7ヶ月の累計輸出量は前年同期比19.7%増の1.72百万袋である。

表 1: ICO 指標価格と先物価格(US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
May-17	125.40	151.41	150.00	131.21	98.36	135.45	90.35
Jun-17	122.39	146.12	143.22	123.71	101.95	128.18	93.11
Jul-17	127.26	152.51	149.66	129.19	104.94	135.71	96.03
Aug-17	128.24	155.15	149.88	131.93	104.52	138.11	94.89
Sep-17	124.46	151.47	146.56	129.67	99.18	135.95	89.69
Oct-17	120.01	144.26	140.71	124.55	98.39	131.00	88.38
Nov-17	117.26	144.09	140.90	124.28	91.33	129.96	81.46
Dec-17	114.00	141.62	137.42	121.47	87.59	125.25	78.30
Jan-18	115.60	143.77	138.81	123.67	88.65	127.65	78.90
Feb-18	114.19	141.50	136.28	120.83	89.24	123.82	80.38
Mar-18	112.99	139.45	135.03	119.80	88.18	121.66	79.86
Apr-18	112.56	139.29	134.34	118.76	88.31	120.17	79.36
May-18	113.34	140.26	135.61	119.57	88.74	122.50	79.85
% change between May-18 and Apr-18							
	0.7%	0.7%	0.9%	0.7%	0.5%	1.9%	0.6%
Volatility (%)							
Apr-18	4.0%	4.2%	4.0%	5.0%	5.1%	5.2%	5.6%
May-18	4.8%	5.2%	4.9%	5.8%	6.0%	6.3%	5.9%
Variation between May-18 and Apr-18							
	0.8	1.0	0.9	0.8	0.9	1.1	0.3

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
May-17	1.41	20.20	53.05	18.79	51.64	32.85	45.09
Jun-17	2.90	22.41	44.17	19.51	41.27	21.76	35.07
Jul-17	2.85	23.32	47.57	20.47	44.72	24.25	39.68
Aug-17	5.27	23.22	50.63	17.95	45.36	27.41	43.22
Sep-17	4.91	21.80	52.29	16.89	47.38	30.49	46.26
Oct-17	3.55	19.71	45.87	16.16	42.32	26.16	42.62
Nov-17	3.19	19.81	52.76	16.62	49.57	32.95	48.50
Dec-17	4.20	20.15	54.03	15.95	49.83	33.88	46.95
Jan-18	4.96	20.10	55.12	15.14	50.16	35.02	48.75
Feb-18	5.22	20.67	52.26	15.45	47.04	31.59	43.44
Mar-18	4.42	19.65	51.27	15.23	46.85	31.62	41.80
Apr-18	4.95	20.53	50.98	15.58	46.03	30.45	40.81
May-18	4.65	20.69	51.52	16.04	46.87	30.83	42.65
% change between May-18 and Apr-18							
	-6.1%	0.8%	1.1%	3.0%	1.8%	1.2%	4.5%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界の需給バランス

Crop year commencing	2014	2015	2016	2017	% change 2016-17
PRODUCTION	149 077	152 107	157 694	159 663	1.2%
Arabica	86 281	88 432	102 176	97 426	-4.6%
Robusta	62 796	63 675	55 518	62 237	12.1%
Africa	15 964	16 338	17 120	17 663	3.2%
Asia & Oceania	45 974	49 566	44 968	49 485	10.0%
Mexico & Central America	17 188	17 237	20 467	21 924	7.1%
South America	69 951	68 965	75 139	70 591	-6.1%
CONSUMPTION	151 828	155 712	157 858	159 917	1.3%
Exporting countries	47 197	48 252	48 516	49 434	1.9%
Importing countries (Coffee Years)	104 631	107 461	109 342	110 483	1.0%
Africa	10 713	10 926	11 119	11 238	1.1%
Asia & Oceania	32 641	33 628	34 680	35 422	2.1%
Mexico & Central America	5 237	5 302	5 239	5 326	1.7%
Europe	50 914	51 674	51 860	52 101	0.5%
North America	27 363	28 934	29 564	29 851	1.0%
South America	24 960	25 248	25 398	25 978	2.3%
BALANCE	-2 751	-3 605	-164	-254	

In thousand 60-kg bags

表 4: 輸出国の総輸出量

	Apr-17	Apr-18	% change	October-April		
				2016/17	2017/18	% change
TOTAL	9 504	10 177	7.1%	69 781	70 647	1.2%
Arabicas	6 054	6 240	3.1%	44 611	44 568	-0.1%
Colombian Milds	1 008	1 077	6.8%	9 176	8 373	-8.7%
Other Milds	2 587	2 583	-0.2%	14 395	15 367	6.8%
Brazilian Naturals	2 459	2 581	4.9%	21 040	20 828	-1.0%
Robustas	3 449	3 936	14.1%	25 170	26 078	3.6%

表5 ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	May-17	Jun-17	Jul-17	Aug-17	Sep-17	Oct-17	Nov-17	Dec-17	Jan-18	Feb-18	Mar-18	Apr-18	May-18
New York	1.65	1.70	1.73	1.86	2.03	2.15	2.17	2.23	2.24	2.14	2.21	2.26	2.28
London	2.87	2.81	2.63	2.52	2.52	2.19	2.20	2.09	1.79	1.52	1.37	1.32	1.34

In million 60-kg bags

ートピックスー

メキシコで開催された I C O 121 回理事会で配られた資料の邦訳をお届けします。

主要中米諸国及びメキシコのコーヒーセクターの問題点を突き止める

序文

1. アフリカを起源とするコーヒーは18世紀半ば以降ラテンアメリカの生活の中で重要な経済的役割を担ってきた。コーヒーは多くの国で経済的にまた社会形成の意味でも重要な役割を果たしてきた。しかし、コーヒー産業が持続可能であり続けるためには解決すべき多くの問題を抱えている。この資料の目的はこれらの問題点を突き止めそれらを解決する為にどうすればよいかという事を見つけることである。

2. このレポートはエルサルバドル²を参照国として、中米主要国及びメキシコ地域の予備情報を提供するに過ぎない。今後他中米諸国の情報が解った段階で資料を更新するつもりである。この資料では次のポイントをカバーしている。

- (i) コーヒーの経済への貢献
- (ii) コーヒー生産の傾向
- (iii) コーヒーセクターの直面する問題

I コーヒーの経済への貢献

3. 経済へのコーヒーの貢献度合いは外貨獲得額、国内総生産へのインパクト、生産者及びその他ステークホルダー、従業員の収入金額などで測られる。

I.1 輸出外貨獲得に於ける貢献

4. 2010年以降のこの地域全体のコーヒー輸出国³の年間平均輸出量は14.7百万袋であり、2000年代の14.1百万袋に比べると若干増加している。2016年の輸出量は14.3百万袋だった。1990年以降で最も多く輸出した年は2000年で、19.3百万袋である（図1）。地域全体の輸出量は年ごとにそれ程大きく変わらないが、世界の生産量に於けるシェアは1990年代の19.6%から2010年代の13.3%に落ちている。国ごとの個別実績を見ると、近年コスタリカとエルサルバドルの輸出量がサビ病被害による減産の影響を受け大幅に減少している（図2）。

² I C O 事務局長からの通知 (ED-2258/17) の通り、ボリビアとエルサルバドルだけがこのレポート用⁴に⁵関係資料を提供したが、その情報も I C O データに基づいてたものである。

³ このレポート作成に当たり次の国を考慮した: コスタリカ、キューバ、ドミニカ、エルサルバドル、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、及びトリニダード・トバゴ。

図1:地域別平均コーヒー輸出量

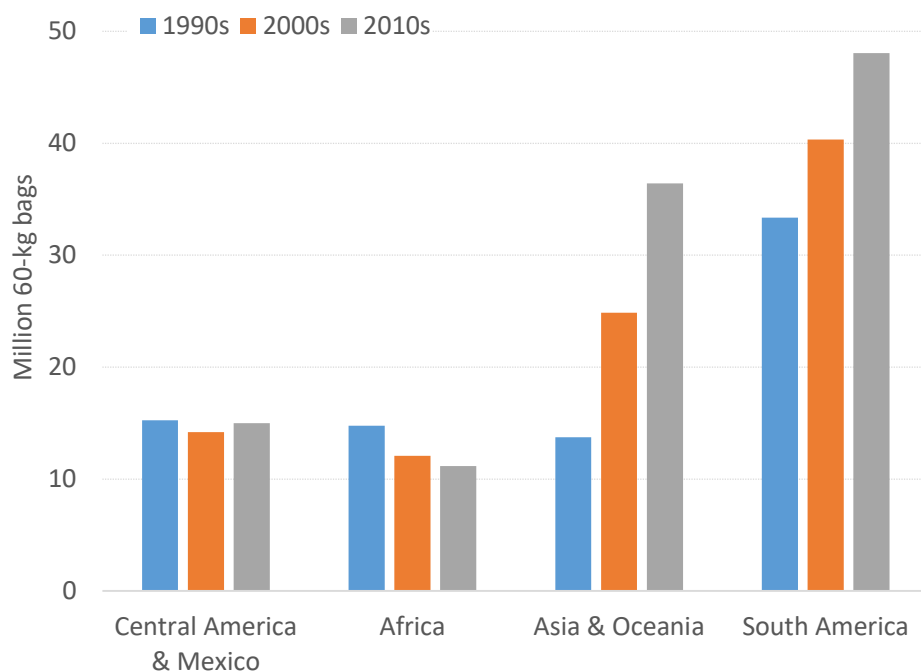
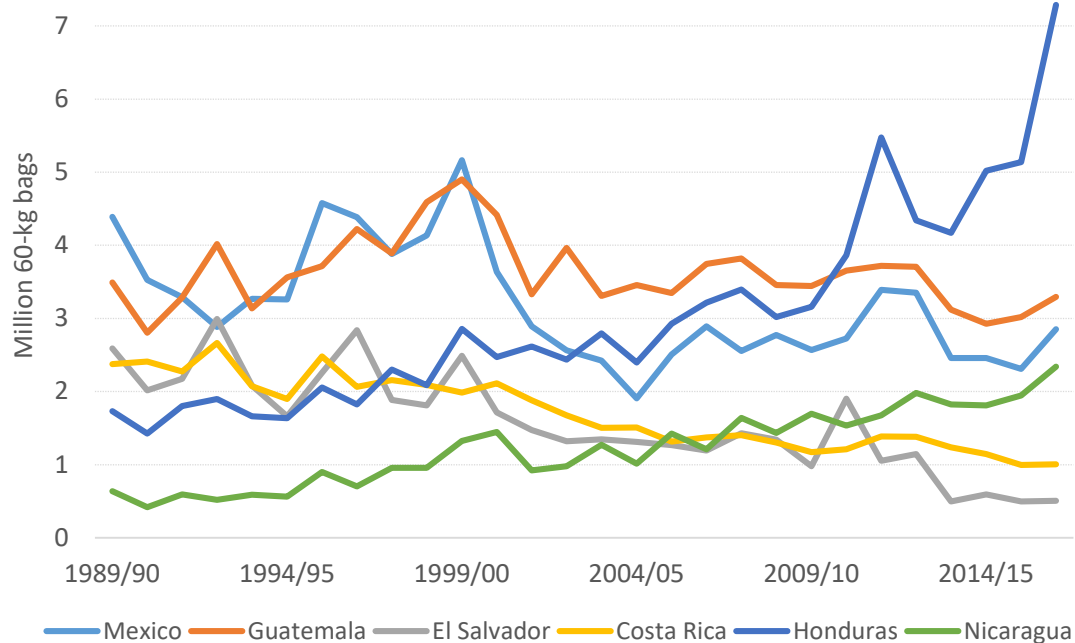
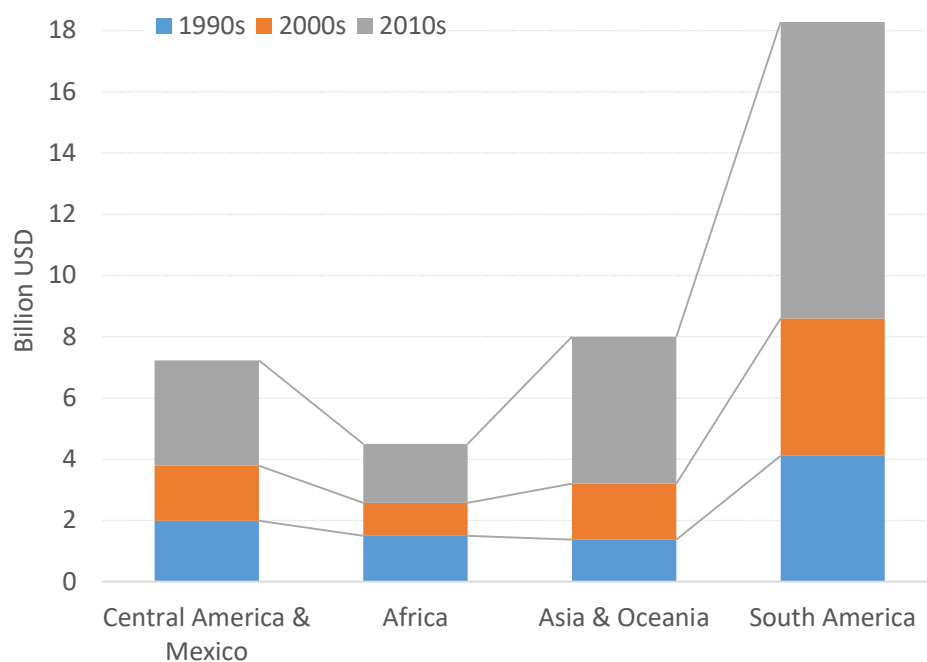


図2:中米・メキシコ地域の国別コーヒー輸出量



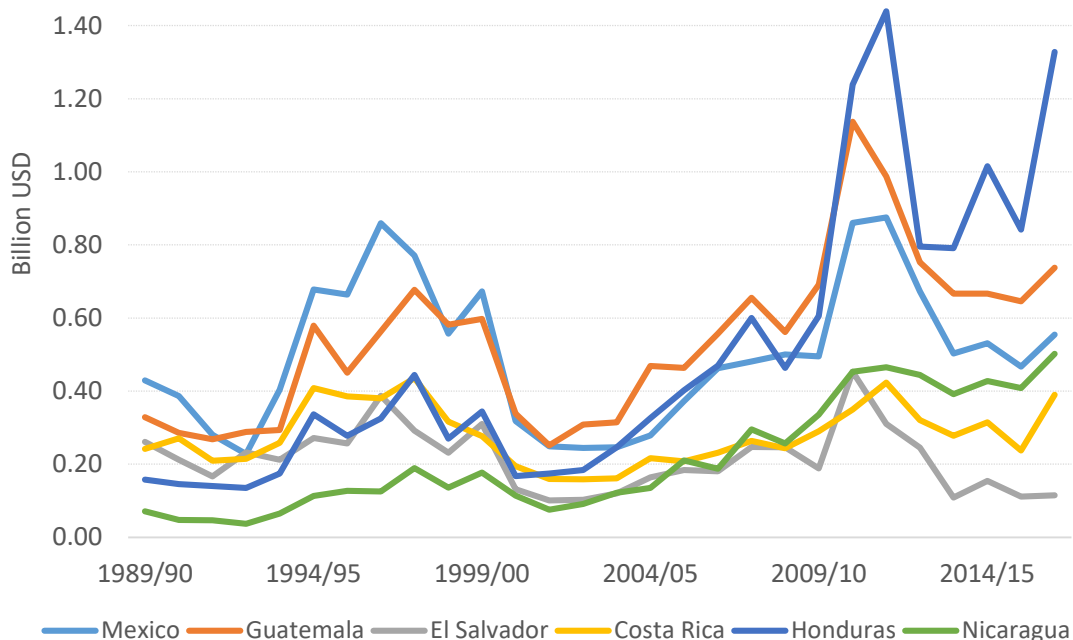
5. この地域の2010年代のコーヒー全形態年間平均輸出金額は31億米ドル強（全輸出金額の17.2%）であり、南米地域が90億米ドル（49.7%）、アジア・オセアニア地域が42億米ドル（23.3%）アフリカが18億米ドル（9.8%）となっている。

図3:全輸出国の平均輸出金額



6. 国ごとの輸出金額実績を見ると、近年はエルサルバドルが減少傾向にある以外は全ての国で増加傾向を示している（図4）。

図4:中米・メキシコ地域の主要輸出国の輸出金額

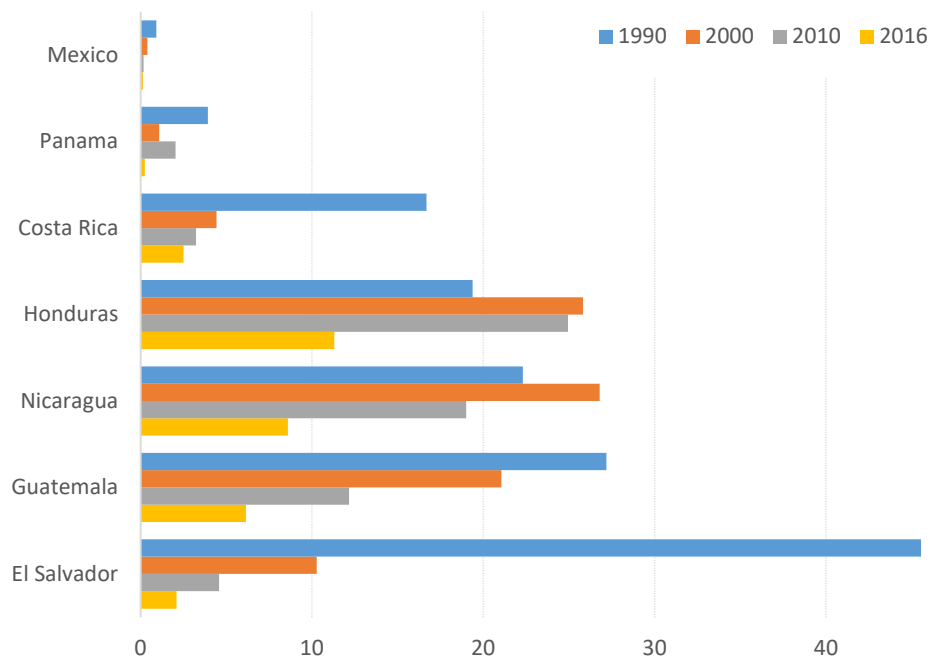


1.2 貿易及びGDPへの貢献度合い

7. この地域の多くの国でコーヒーは経済動向のカタリストとなっている。コーヒーはハードカレンシーを稼ぐ最も重要な輸出アイテムでありGDPへのインパクト要因

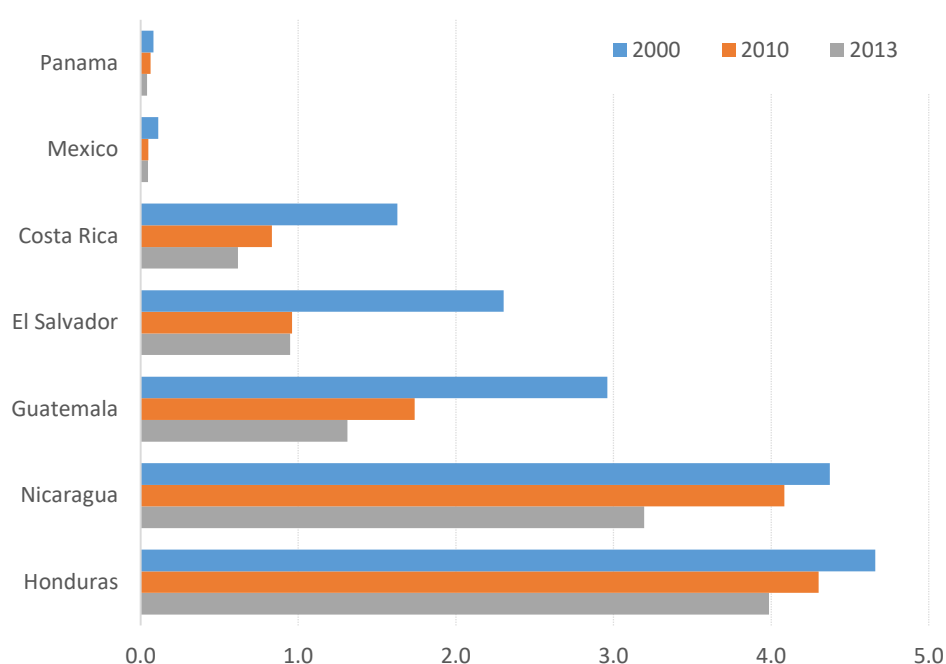
になっている。図5は主要国の全輸出金額に占めるコーヒーの割合を示したものであり、図6はGDPに占める割合を示したものである。

図5:全輸出金額に占めるコーヒーの%シェア



8. コーヒーは引き続きこの地域の国々の重要な収入源でありGDPの構成要素だがコスタリカやメキシコ等いくつかの国は農業を多様化したり新たな産業を興したりすることでコーヒー輸出への依存度合を下げることに成功している。

図6:主要コーヒー生産国のGDPに占めるコーヒーの%シェア



9. 両図ともコーヒー産業がこの地域の多くの国で重要であることを示しているが、サビ病勃発及びコーヒー生産量の減少で、いくつかの国では他アイテムに比べ、コーヒーの重要度合が低下している。国ごとの詳細を見るとエルサルバドルの2016暦年のコーヒーのGDPに占める割合は0.56%に過ぎなかったが、過去5年間の平均値は0.73%だった。同国のコーヒー輸出で稼いだ外貨収入金額は2010/11年度に453.4百万米ドルだったものが2016/17年度には115.3百万米ドルに落ちている。生産量の大幅な減少でコーヒーはもはや重要な外貨獲得アイテムではなくなっているのである。サルバドル・コーヒー評議会（Salvadorean Coffee Council）によると全輸出金額に占めるコーヒーの割合は、1990年には45.5%だったが、2016年にはたったの2.6%に過ぎなかったとのことである。過去5年間のコーヒーの平均シェアは3.3%⁴だった。

10. ホンジュラスではコーヒーの農業GDPに占める割合は38%であり、主要な輸出農作物である。メキシコでは、機械や石油製品が外貨獲得アイテムとしては圧倒的に重要だが、ベラクルス州やチアパス州のようなコーヒー生産州ではコーヒーが引き続き重要製品の地位を占めている。米国農務省の農産品レポートによるとコーヒーは耕作面積で見るとコーン、豆類、小麦、ソーガムに次ぐ第5番目に広い面積を占める農作物である。

1.3 コーヒー農家の収入及びコーヒーセクターの労働人口

11. 表1は国ごとの推定コーヒー生産農家数およびコーヒー耕作面積を示している。付属資料は1989/90年度以降のコーヒー農家の手取り価格が示されている。ピーク時には2百万軒を超えるこの地域の農家にとってコーヒーは主要な収入源であり、コーヒー産業は生産活動の為に多くの雇用を創出していた。臨時雇いや季節労働者を考慮すると数字はさらに膨らむことになるだろう。コーヒーが必要とする労働力は主に耕作、手入れ、収穫、加工分野に投入される。エルサルバドルではサビ病勃発後生産量が大幅に減少したにも関わらずコーヒーはサトウキビに次ぐ2番目に大きな輸出アイテムで、地方で雇用を創出する農作物であり続けた。同国では2016/17年度、コーヒー産業全体で42000を超える雇用を創出した。

⁴ Consejo Salvadoreño del Café.

表 1: コーヒー農家の数および耕作面積

Country	Numbers of farmers	Workers	Total	Average acreage ha	Total population Estimates	Rural Population	Rural population as % of total population	%share of rural population growing coffee
Costa Rica	45 445	60 000	105 445	93 774	4 814 144	1 155 395	24.0%	9.1%
Cuba	35 000	5 000	40 000	28 505	11 258 597	2 589 477	23.0%	1.5%
Dominican Republic	2 500	1 500	4 000		10 528 954	2 316 370	22.0%	0.2%
El Salvador	21 877	1 006	22 883	137 800	6 383 752	2 170 476	34.0%	1.1%
Guatemala	125 000	100 000	225 000	253 000	15 859 714	7 771 260	49.0%	2.9%
Haiti	1 500	60	1 560		10 461 409	4 498 406	43.0%	0.0%
Honduras	120 000	413 000	533 000	300 000	8 746 673	4 023 470	46.0%	13.2%
Jamaica	16 000	800	16 800		2 721 252	1 224 563	45.0%	1.4%
Mexico	515 000	600 000	1 115 000	717 336	127 540 423	26 783 489	21.0%	4.2%
Nicaragua	44 519	300 000	344 519	129 911	6 169 269	2 591 093	42.0%	13.3%
Panama	500	2 000	2 500		3 926 017	1 334 846	34.0%	0.2%
Trinidad & Tobago	2 000	500	2 500		1 344 235	1 223 254	91.0%	0.2%
Central America & Mexico (12)	929 341	1 483 866	2 413 207	1 660 326	209 754 439	57 682 098	27.5%	4.2%

Source: ICO estimates, country data, UN data on population and various reports and conference papers

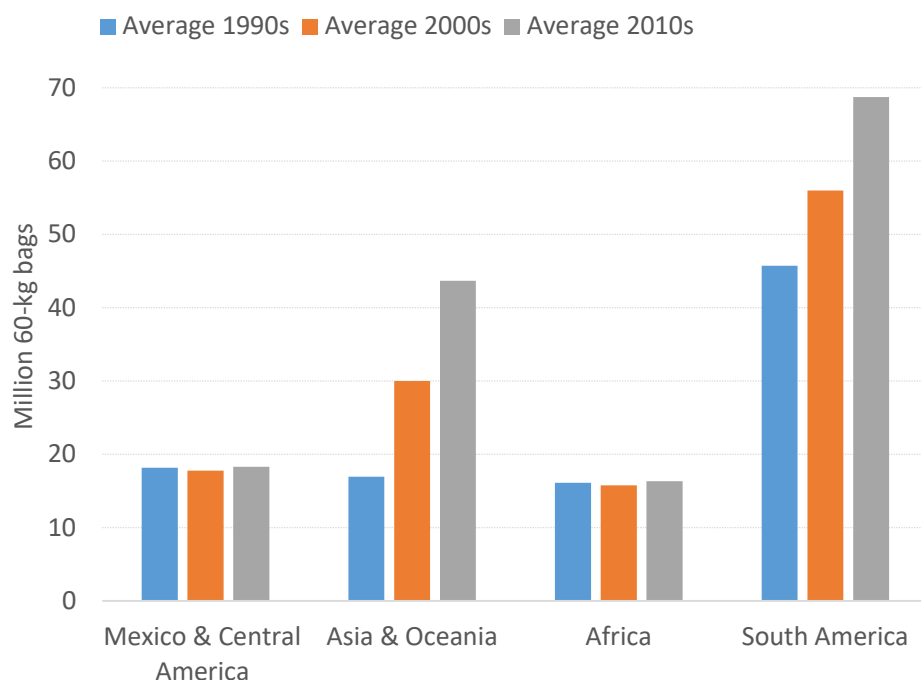
12. 特にニカラグア、ホンジュラス、コスタリカ、次いでメキシコ、グアテマラ等いくつかの国では地方におけるコーヒー生産人口の割合は非常に高くなっている。

1.4 この地域のコーヒー生産の傾向

13. この地域は高品質コーヒー生産に適した生態学的条件（高地であること、気候、土壌条件など）のお陰で伝統的にコーヒーを生産してきた。この地域で生産されるコーヒーはほぼ全てアラビカ種⁵である。1989/90年度以降この地域のコーヒー生産量は、平均すると年率0.5%と相対的に低い成長率を示している。尤も個別の国を見ると生産量の増えている国があれば減っている国もある。この地域の最近30年間の年間平均生産量は18百万袋である（図7）。

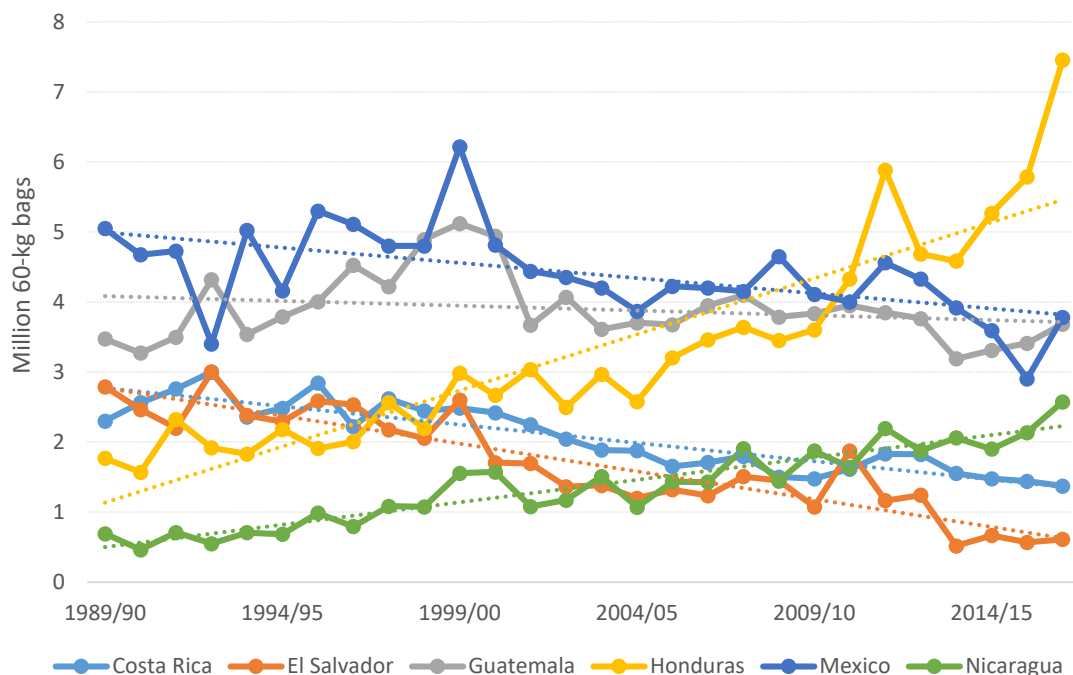
⁵Guatemala (1%) と Mexico (2%) では僅かではあるがロブスタコーヒーが生産されている。

図 7: 地域別コーヒー生産量



14. この地域のコーヒー生産量は全体としては過去27年間実質的にほぼ横這い状態だったが、個別の国を見ると様子は異なっている。図8aは1989/90年度以降のこの地域主要国の生産量推移を示したものである。2009/10年度以降生産量が減っているのはメキシコ、グアテマラ、コスタリカ、エルサルバドルである。パナマとキューバは1997/98年度から生産量の減少が始まっている(図8 b)。しかし、ホンジュラスとニカラグアの二か国は生産量を増やしている。

図 8a: 中米・メキシコ地域の主要コーヒー生産国の生産傾向



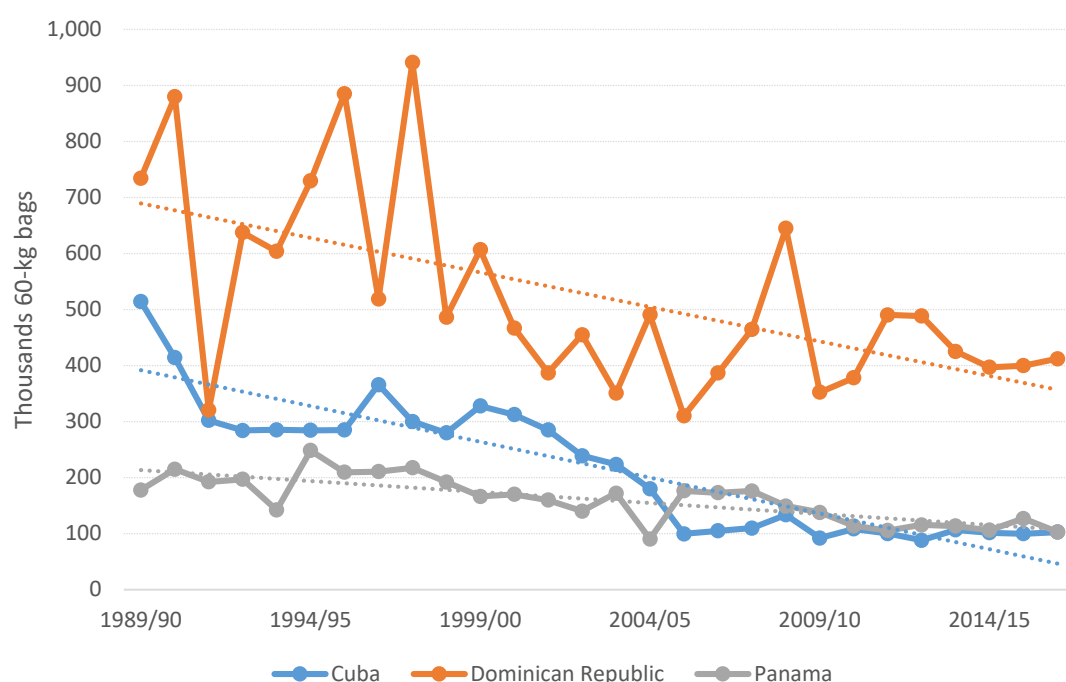
15. メキシコは、1990年代中頃には世界生産量の平均4.8%を生産し世界4番目のコーヒー生産国だったが、2016/17年度の世界生産量シェアは2%で9番目である。2009/10年度以降の同国の平均年間生産量は4百万袋弱である。2016/17年度の世界生産量は3.8百万袋だが、2015/16年度の2.9百万袋に比べると大幅に改善している。グアテマラの2010/11年度以降の平均年間生産量は3.6百万袋であり、この前の10年間の平均生産量4.3百万袋に比べると若干の減少となっている。2010/11年以降の同国の世界生産量シェアは、3.6%から2.4%に減っている。1990年代グアテマラは世界で第6番目の生産国だった。コスタリカの2010/11年度以降の平均年間生産量は1.6百万袋であり、これ以前の10年間及び更にそれ以前の10年間の平均年間生産量夫々、1.9百万袋と2.6百万袋と比べると明確な減産傾向が伺える。この地域でかつて4番目の生産国が2016/17年度には6番目に落ちている。この地域の主要生産国の一つエルサルバドルの生産量は激減している、即ち1990年代には2.4百万袋、2000年代には1.5百万袋だった平均年間生産量が2010/11年度以降は1百万袋以下の水準にまで減少している。この減産傾向は特にサビ病以降に顕著に表れている、即ち最近4年間の年間平均生産量は600000袋の水準にまで激減している。同国のコーヒー生産量は2012/13年度以降50%以上減っているのである。

16. この地域で最も生産量が増えているのはホンジュラスで、最近26年間の年間平均生産量伸び率は6%を超えている。1990/91年度から2016/17年度の世界生産量の伸び率は376%である。平均年間生産量を見ると、1990年代が2.1百万袋、2000年代が3.1百万袋、2010/11年度以降が5.2百万袋となっており、世界で6番目の生産国になっている。2016/17年度の世界生産量は7.5百万袋で全世界生産量の4.7%のシェア

一を占め世界で5番目の生産国になっている。ニカラグアも生産量は増えており、平均年間生産量は1990年代の859000袋から、2000年代には1.4百万袋に、2009/10年度以降は2百万袋になっている。同国の2016/17年度の生産量は2.6百万袋であり、1990/91年度の461000袋に比べると559%増えている計算である。

17. 残りの6か国、キューバ、ドミニカ共和国、ハイチ、ジャマイカ、パナマ及びトリニダード&トバゴの生産量は減少傾向を示しており、特にキューバは大幅な減産で、1990/91年度以降75%以上減っている（図8b）

図 8b: ラテンアメリカ主要国のコーヒー生産傾向



II. コーヒー産業が直面する問題

18. この地域のコーヒー産業が直面する主要な問題は生産にある。具体的に言うと、コーヒー生産者は、マクロ経済環境の急激な変化による厳しい経済的圧力、例えば国際コーヒー価格の乱高下、生産コストの上昇、労働力不足と労働価格上昇、気候変動による新規耕作地取得困難等の厳しい問題に晒されている。まずはコーヒー産業の持続可能性を妨げる主な阻害要因を見てみたいが、それらは生産コス

ト、サビ病や疫病管理問題、気候変動、価格水準及び価格の乱高下、コーヒー生産農家の低い生産性と結果としての低収益問題であり、国によっては更に脆弱な小規模コーヒー農協の問題、数少ない研究開発組織、技術移転が容易に進まない、付加価値化が充分行き渡らない等の問題である。次にいくつかの問題について具体的に述べてみたい。

II.1 気候変動

19. 今日この地域でコーヒー産業が抱える最も重要な問題だと考えられている。地球の温暖化はコーヒー生産にとっては脅威である。更に詳しく言うと気温上昇は特にアラビカコーヒーにとっては深刻な問題となる、何故ならこの品種には高品質コーヒー生豆の生産条件、例えば摂氏15度～23度の穏やかな気温等の比較的に限られた特定の生態学的、気象学的条件が必要だからである。地球の気温が高くなるとアラビカコーヒー生産に適した土地が少なくなるのである。

20. 気候パターンが大幅に変化することは、干ばつや豪雨、土中の栄養分の減少、サビ病や疫病の蔓延等を招来し生産性を悪化させることを意味するのである。更に少降雨量・干ばつで特徴づけられる、エルニーニョ現象は今後も頻発することが予想され多くの生産地域でコーヒー生産に悪影響を及ぼすだろう。

II.2 コーヒー疫病・疾病

21. コーヒー疫病や疾病は1970年代以降コーヒー産業にとり頻発した問題ではあるが、気候変動によりコーヒー生産の被害は増幅された。近年、中米地域のコーヒー農家はサビ病（この地域ではRoyaと呼ばれる疫病）勃発のせいでコーヒーの大減産を経験している。この病気は初めてのものではないが、2012/13年度のサビ病は過去最悪のものだと考えられている。エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコなどを含む中米諸国は深刻なサビ病被害を被った。しか、2～3の国で生産量が回復しているのを見ると（図8a参照）、サビ病をうまくコントロールしているようである。しかしサビ病をうまくコントロールしているように見えるホンジュラスでさえ、多くの小農家の中には適正農業規範を持たない為に未だに収穫量が少ない農家もあるようである。

II.3 低生産性

22. コーヒーの生産性は、国によっても又同じ国の中でも、農家の農園管理方法が違えば、気候パターンの相違で起こると同じように違ってくるものである。この地域全体の平均生産性はヘクタール当たり400kgから1200kgである。しかし、小農家の生産性は、適正農業規範を持たない為にヘクタール当たり500 kg以下である。この地

域の農家は、例外はあるが、また国により、規模による違いがあるとは言えるものの殆どの農家は小農家である。小農家の概念は国により異なる。ホンジュラスでは95%の農家が7ヘクタール以下の小農家で占められ、全生産量の64%を生産している。ニカラグアでは2ヘクタール以下の小農家が全体の64%を占め、2～14ヘクタールの中規模農家が12%、14ヘクタール以上の大農家が24%を占めている。エルサルバドルでは小農家は一般的には35ヘクタール以下の農園を持つ農家のことを言うが、更に4つのサブグループに分けられている（表2）。

表 2: エルサルバドルのコーヒー農家の規模

Size of farm (ha)	Number of households				Share of growers by size	Areas under coffee (ha)	% share of area under coffee
	Men	Women	Permanent workers	Total			
0.01 - 3.50	11 230	6 183	73	17 486	76.4%	19 000	13.8%
3.51 - 7.00	1 173	658	68	1 899	8.3%	9 180	6.7%
7.01 - 17.50	848	593	167	1 608	7.0%	15 920	11.6%
17.51 - 65.00	400	248	208	856	3.7%	18 425	13.4%
35.01 - 70.00	199	137	196	532	2.3%	20 205	14.7%
Over 70	126	82	294	502	2.2%	55 070	40.0%
Total	13 976	7 901	1 006	22 883	100.0%	137 800	100.0%

Source: Salvadorean Coffee Council

23. エルサルバドルでは大規模農家の平均的生産性はヘクタール当たり1000kgを超えるが、小農家のそれは500kg～750kgである。ニカラグアの生産性は地域で最も低くヘクタール当たり平均400kg強である。この地域の殆どの国に於いて低生産性は非効率な農園規範の結果であり、サビ病や気候パターンの度重なる変化が事態を更に悪化させている。

24. 小農家の農園管理規範改善のための能力を構築することは最も重要なことの一つであり、次が老木による生産性低下、そして小農家の非効率な手入れ規範である。また農業技術者の指導が不十分な為に起こる農業投入材（input）や及び植物衛生製品（phytosanitary products）の利用が充分でないことも生産性の低下につながっている。

II.4 コーヒー農園の低い収益性

25. コーヒー農家の収益性が低いことはコーヒー産業が抱える最も深刻な問題の一つである。現在の価格水準では、多くのコーヒー生産者は生産コストを下げる為に

伝統的な環境に優しい生産方法を放棄するようになるだろう。日陰栽培方法は土壌、水質、植物多様性、動物多様性、更には天然小気候(natural microclimate)を保存するには適した農法だが、収益性が低い為、農家はこの農法を放棄するようになるだろう。コーヒー生産の経済的持続性を確実にするために、小農家はコーヒーからの収入を補填する為に経済活動を多様化する必要がある。コーヒー産業の持続可能性を確かなものにするためには、コーヒー生産者、加工業社、輸出業者、コーヒーメーカー、小、中、大農家及び全労働者（正規及び臨時雇いを含む）全てを含むコーヒー生産バリューチェーン間の価値のより良い分配方法を考える必要がある。

II.5 金融手段への限られたアクセス

26. 低生産性で損なわれ、農園への投資資金に事欠く小農家が生産性問題を解決する為には金融へのアクセス手段が必要である。外的要因への依存が高いことから、農業生産は不確実であることが常であり、それが故に多くの国で農業に対する商業銀行の信用は非常に低い。他地域の国を含む多くのコーヒー小農家は多額の借金と高金利に悩まされている。コーヒー農家の問題を解決するには金融へのアクセス問題を検討する必要がある。

II.6 農協組織の能力強化

27. ホンジュラス、メキシコ、エルサルバドル、ニカラグアなどを含む多くの国で、農協組織が十分に機能していないようである。多くの場合、小農家と市場の間には大きなギャップがある。例えば、小農家はコーヒーチェリー収穫後それを中間業者に販売し、彼らが果肉除去業者に転売している。唯一国営農園だけがチェリーを加工し、生豆として輸出業者や焙煎業者に直接販売している。農協は小農家がコーヒー市場チャネルに直接参加できるようにすべきであり、サービス(service)や農業投入資材(inputs)の購入、技術援助へのアクセスが出来るように改善するべきである。

II.7 限られたコーヒーバリューチェーン

28. バリューチェーンの概念は、コーヒー豆の生産から最終消費者までの全てのサプライチェーンの活動で生み出される総収入を意味している。コーヒーバリューチェーンの第一段階はコーヒーの発芽からコーヒー生豆生産までであり、苗床を作ることから、苗の移植、コーヒー木の管理、成熟豆の収穫までを含む（バリューチェーンの初期段階）。第2段階は成熟豆の収穫後の加工から含まれる。この段階は赤いチェリーが水洗加工されるのでかなりの価値が付加されることになる。第3段階は袋詰め及び販売である。第4段階は焙煎から最終消費者への配送までの全ての活動が含まれている。多くのコーヒー輸出国の場合そうだが、このバリューチェーンの最後の段

階を行っている地域は限られている。生産国によっては国内消費を促進しているところもあるが、ほぼ全ての価値創出はコーヒー生豆輸出で終わっている。コーヒー生産国が焙煎加工されたコーヒーやソリュブルコーヒーを輸出する例は未だ低水準である。

Ⅲ. 結論

29. 中米・メキシコ地域の主要国コーヒー産業が抱える問題の現時点での評価としては、コーヒー生産の経済的持続性に影響する主要な問題は気候変動及び生産コスト上昇問題である。中米地域のコーヒー産業は殆どが小農家で構成されているので、生産性向上、金融へのアクセス、生産コスト管理能力構築等を含む様々な問題を解決するには、まず最も重要な対策についてのコンセンサスを得る必要がある。気候変動対策には高生産性品種やサビ病、炭疽病、コーヒーベリーボロー等のような病気や疫病に強い品種を開発することなども含まれる。更に、生産国間では広く共有されている付加価値創造に関連する問題がある。即ち生産国ではコーヒーメーカーが価値を付加出来る焙煎を含む加工技術などの知識が限られているということである。最後に留意する必要があるのは、コーヒー価格が下がるということは、正規、臨時雇い、季節労働者を含む全ての労働者の待遇が悪化することを意味し、結果として彼らが職を失うと、都市や他国に移住することにもなり、最悪の場合彼らが非合法的活動に身を染めることも考えられるということである。

農家に支払われる価格
米 セント/LB

Country	Type of Coffee	Crop Year Commencing										
		1989/90	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	1996/97	1997/98	1998/99	1999/00
Costa Rica	Arabica	57.8	55.8	50.7	47.0	76.8	89.7	89.2	99.0	96.7	80.8	77.0
Cuba	Arabica	171.4	171.4	171.4	188.6	188.6	203.6	188.6	188.6	188.6	188.6	188.6
Dominican Republic	Arabica	59.0	66.0	54.9	46.6	65.4	138.9	87.5	134.3	133.1	77.6	76.7
El Salvador	Arabica	55.5	46.8	32.2	33.3	78.2	113.9	75.1	115.5	94.5	60.2	52.4
Guatemala	Arabica	51.4	59.7	42.9	38.7	62.1	101.6	89.9	88.3	109.4	79.0	77.1
Haiti	Arabica	54.3	26.2	15.0	9.8	20.3	34.8	30.2	27.9	29.4	23.1	24.2
Honduras	Arabica	53.2	57.2	43.9	36.1	60.3	118.0	64.0	106.7	105.6	63.7	59.2
Jamaica	Arabica	157.9	219.4	200.2	206.1	321.7	261.2	341.7	291.2	254.3	155.9	213.5
Mexico	Arabica	74.2	85.4	62.9	72.4	126.0	184.8	122.1	139.0	115.6	83.1	71.9
Nicaragua	Arabica	5.6		44.1								
Panama	Arabica	49.3	48.5	44.4	44.4	74.0	98.6	98.2	122.3	115.0		
Trinidad & Tobago	Robusta	62.6	62.6	62.6	78.0	64.7	64.0	63.7	61.0	60.3	73.6	

農家に支払われる価格
米セント/LB

		Crop Year commencing									
Country	Type of coffee	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	2009/10
Costa Rica	Arabica	47.0	45.2	51.0	58.9	82.1	87.7	95.9	106.1	104.5	123.8
Cuba	Arabica	188.6	188.6	188.6	110.0	70.2	70.7	64.8	53.0	70.7	70.7
Dominican Republic	Arabica	48.3	46.8	50.1	57.6	90.5	83.2	87.8	95.0	101.1	118.6
El Salvador	Arabica	20.8	18.7	26.2	33.7	64.1	64.1	72.2	90.5	74.4	95.6
Guatemala	Arabica	49.0	47.3	48.7	60.4	88.4	89.8	96.0	112.1	106.3	131.5
Haiti	Arabica	3.0									
Honduras	Arabica	37.3	34.8	40.6	47.2	75.5	78.2	79.6	97.9	80.7	105.5
Jamaica	Arabica	185.0	216.9	202.0	179.2	214.5	340.8	352.6	347.8	306.3	286.7
Mexico	Arabica	52.3	46.7	56.9	85.5	127.9	98.5	89.2	106.3	91.8	
Nicaragua	Arabica		29.0	33.5	37.3	51.3	57.5	62.1	71.1	70.8	71.6

		Crop Year commencing						
Country	Type of coffee	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17
Costa Rica	Arabica	182.5	173.2	121.8	126.3	152.0	125.4	138.9
Cuba	Arabica	70.7	70.7	139.5	235.7	235.7	235.7	235.7
Dominican Republic	Arabica	169.9	171.6	140.6	154.5	192.5	169.0	179.9
El Salvador	Arabica	181.3	136.1	95.9	110.7	98.7	84.5	92.1
Guatemala	Arabica	205.5	178.3	134.0	141.7	148.9	131.1	137.3
Honduras	Arabica	188.1	159.8	105.4	108.7	121.1	88.6	98.0
Jamaica	Arabica	299.0	302.8					
Nicaragua	Arabica	98.9	68.0	39.8	71.9			